

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

調査日:2024年10月

公表:2025年 4月

事業所名 きらら那珂川

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広い施設を利用し、学習等は個室集団療育ではホールと使い分けて環境を整えています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		適切な人員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関以外はフルフラット。各個室に番号を決める事で児童にも分かり易くしています。トイレも男女、子ども用に分けています。	今後も利用児童の特性に応じた環境作りを目指していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃や消毒・換気を実施して日々清潔に保っています。	今後も来所時や食事・おやつの前には、手洗い・消毒を行い心地よく過ごせる環境を作っていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に職員間で療育内容や支援方法を話し合い業務改善を行っています。	振り返りを行い、問題点や課題に対しての解決方法を職員間で話し合い、情報共有していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		昨年のアンケート調査をもとに業務改善を行っています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		集計後、事業所内への掲示とHPへ掲載します。	今後も集計後公表を行っていきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では、未実施です。	今後、実施を検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		子どもの送迎時安全管理の研修・感染症対策研修等を受講しています。他の研修機会があれば積極的な参加を促しています。	研修に参加し、事業所内でフィードバックを行い参加出来なかった職員に共有出来るようにしていきます。
適切な 支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画書作成前にしっかりと面談を行い、保護者のニーズや課題に基づいた計画を作成しています。	保護者様との面談を行い、課題を把握して支援計画を作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個人に応じたアセスメントツールを使用しています。	モニタリング時には統一したチェックシートを使用していきます。必要に応じて見直しを行っていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援計画作成時に、児童に必要な支援内容を設定しています。	必要な項目を選択して具体的な支援内容になるようにしていきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿った支援が出来るように職員間で共有認識をしています。	今後も支援計画に沿った支援が行われるようにしていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に1度会議を開き、療育状況の共有やプログラムの立案の見直しを実施しています。	今後も職員間で活動内容を見直しを実施していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に1度職員会議を開き、プログラムの見直しを実施しています。	集団や個別・季節によっての活動など行えるようにしていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別・集団活動を行い、児童の状況に合わせた支援計画を作成しています。	個々の状況に応じて支援計画を職員・保護者との話し合いで作成していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の時間を設けて、その日の職員の動きの確認や利用児童の把握、活動内容についての確認を行っています。	毎日、朝礼を行い、連絡事項や支援内容について確認を行い、職員間で情報の共有をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎がある為、終了後の振り返りは難しい事が多いです。その時は翌日に行っています。	利用児童の活動記録をその日関わった職員が記入し、重要な事は職員間の連絡ノートにて共有していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日の療育担当者が記録をとる為、対象児童の様子を正確に書く事ができています。	活動記録や申し送りを含め、支援の検証・改善を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		適切な時期にモニタリングや職員会議を行い計画の見直しを行っています。	定期的にモニタリングを行い、見直しが必要であれば、その都度行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議の前に職員間で情報共有を行い、必要時には2名以上で参加しています。	担当者会議の日程調整(シフトの関係)を出来るだけ行い、ふさわしい者が参画し情報共有を行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		今後、実施を検討していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今後関係機関と連携して支援内容等の情報共有と相互理解を行います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援として定期的に行っています。	今後関係機関と連携して支援内容等の情報共有と相互理解を行います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		現在は実施していません。今後、機会があれば専門機関と連携していきます。	助言や研修は受けていません。専門機関との連携は行っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	現在は実施していません。	今後そのような機会が持てるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	現在のところ、その様な内容のサービスは実施していません。今後、検討していきます。	今後そのような機会があれば積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に様子を伝えたり、連絡帳を通して情報交換を行っています。その内容を会議等で共有していきます。	保護者とはその都度、密に連絡を取り合い情報共有し、共通理解を持てるようにしていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今後検討していきます。	今度、保護者からの悩みなどに対して助言やアドバイス等を行います。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に担当者から書類と口頭にて説明を行っています。	利用契約時に運営規定・支援内容・利用者負担等について説明を行い、質問等にもすぐに返答出来るようにしていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		担当者から計画書の説明を行い、計画への同意を得ています。	ガイドラインが示す、支援内容を基に支援計画を作成し、半年に一度、定期的にモニタリングを行い支援内容を説明し同意を得ています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった際には担当者が面談を行い必要な助言・支援を行っています。	相談があった場合には助言を行っています。今後は定期的に保護者とお話する機会を設けていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在は実施していません。今後、実施を検討していきます。	保護者の意向を聞き、実施については今後、検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れあった際には担当者が面談を行い助言・支援を行っています。	今後も引き続き相談や申し入れについては、迅速に対応にあたっていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報はありませんが、行事予定についてはその都度送迎時や連絡帳等にて直接保護者にご連絡しています。	会報等は発行していませんが、今後、活動概要や行事予定などの会報の発行を検討しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報取り扱いの研修を行ったり、鍵付き棚にて管理を行っています。	引き続き、個人情報の取り扱いに注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言語コミュニケーションが困難な児童には絵カードや写真カードで情報の伝達を行っています。	連絡帳や送迎時に保護者に助言をし、意思の疎通を図っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在は実施していません。今後、実施を検討していきます。	保護者の意向によっては、今後、実施を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、職員がいつでも見て対応できるように掲示しています。	保護者に対しては周知していませんので、今度、事業所内に掲示すると共に、計画書切り替え時などに説明をしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		利用児童、職員一緒に非常災害の訓練を行っています。	定期的に避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認を行い、職員間で情報共有しています。	保護者と情報共有を行い、児童の健康上の配慮や注意点について、職員が意識出来るよう定期的な確認を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーがある児童については他児と机を分け、持参した物のみを摂取しています。	保護者からの指示に従い、対応していきます。必要に応じて医師の指示書に基づいて対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを元に事例集を作成して、情報共有しています。	今後も事例集を作成して、全職員で共有し改善策について検討していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		開所時に虐待防止研修を実施しています。今後も定期的の実施予定です。	シフトの調整を行うなどして、研修の機会を確保していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に担当者から書類と口頭にて説明を行っています。	事業所内でも今一度、職員間で研修を行い、身体拘束等について周知していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。